放射線科

1．概要

2017 年 1 月には石原部長、高田副部長、中道医長、石口医員の 4 人であったが、4 月より山田医員の赴任があり、2017 年 12 月には石原、高田、中道、石口、山田の 5 人で診療している。画像診断は高田、中道、石口の 3 人、放射線治療は石原、山田の 2 人が担当している。

この 1 年の最大のイベントは高度放射線棟での放射線治療装置 2 台の稼働であり、2 月から 3 月に順次使用を開始した。また、2018 年 1 月の電子カルテシステム更新、2 月の読影室移転に向けて、様々な準備を行った。

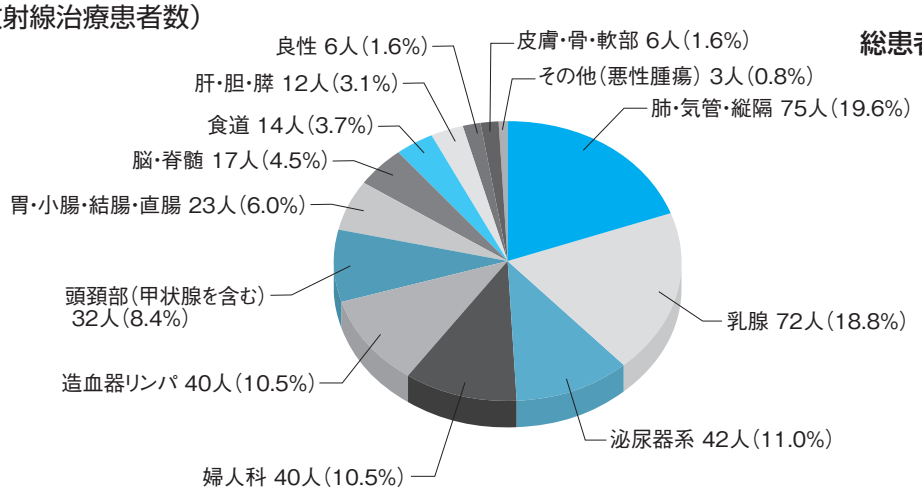
この 1 年間の業務実績は、読影が 31,563 件（CT 22,239 件、MRI 7,317 件、アイソトープ 1,154 件、PET－CT 853 件）であった。その他、血管造影・IVR 143 件、甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法 8 件、去勢抵抗性前立腺癌の骨転移に対する塩化ラジウム治療 7 件、放射線治療の新患 382 件であった。

（部長　石原　俊一）

2．新規登録疾患

（新規放射線治療患者数）

総患者数：382人



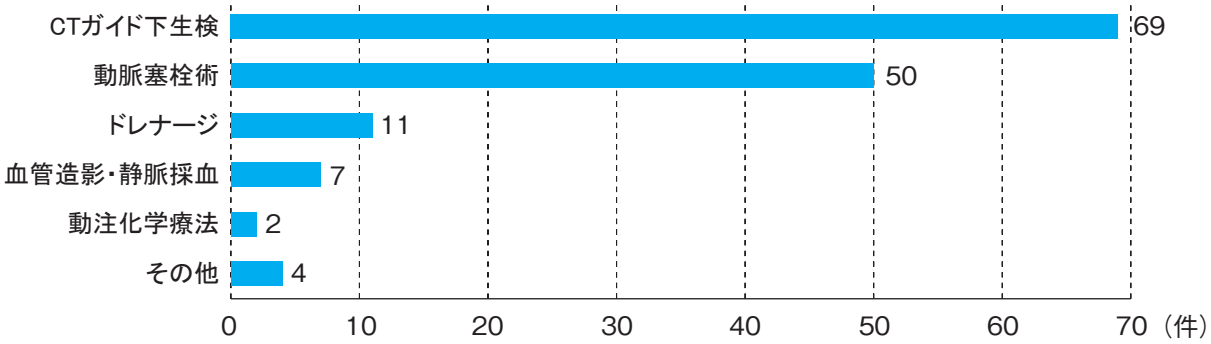
3．活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,817人	年間外来新患者数	712人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人

(2) 血管造影・IVR 手技別件数

総件数：143件



学会発表（医局）

＜放射線科＞

No.	演　　題　　名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	多施設共同研究：1回2.25GyによるⅠ期声門癌の放射線治療	共同演者	石原　俊一	日本医学放射線学会第162回中部地方会	富山市	2017/7/9	
2	放射線治療を施行した骨転移患者の予後～10年前との比較～	筆頭演者	石原　俊一	日本医学放射線学会第162回中部地方会	富山市	2017/7/9	
3	放射線治療を施行した骨転移患者の予後～10年前との比較～	筆頭演者	石原　俊一	日本放射線腫瘍学会第30回学術大会	大阪市	2017/11/19	
4	多施設集計によるⅠ期声門癌の1回2.25Gyの放射線治療の実態調査	共同演者	石原　俊一	日本放射線腫瘍学会第30回学術大会	大阪市	2017/11/19	

研究会発表（医局）

＜放射線科＞

No.	演　　題　　名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	多施設共同研究　ー第3報 I期声門癌の1回2.25Gyによる放射線治療の実態調査	共同演者	石原　俊一	第34回東海頭頸部腫瘍研究会	名古屋市	2017/2/18	
2	漿膜下子宮筋腫茎捻転の1症例	筆頭演者	山田　剛大	名古屋レントゲンカンファランス	名古屋市	2017/9/2	

座長・司会（医局）

＜放射線科＞

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	座長	教育講演3 直腸肛門管癌	石原　俊一	日本放射線腫瘍学会 第30回学術大会	大阪市	2017/11/17	

論文・著書 (医局)

＜放射線科＞

No.	題　　名	区分	氏名	雑　　誌　　名	医師区分
1	Retrospective analysis of defi nitive radiotherapy for neck node metastasis from unknown primary tumor: Japanese Radiation Oncology Study Group study	共同著者	Shunichi Ishihara	Jpn. J. Clin. Oncol. 2017; 47: 856-862.	